

## 平成 11 年度 補正 予算

○ 第 2 次補正予算 (12 月 9 日成立)	2,079 百万円
1. 集中豪雨等監視・予測業務の高度化	1,672 百万円
・ 局地的気象監視システムの整備 (中央監視局: 本庁、 観測局 22 ヲ所)	1,572
・ 貯雨量解析システムの整備 (11 ヲ所)	100
2. 地震・火山対策の強化	190 百万円
・ 南西諸島の津波地震観測網の強化 (3 ヲ所)	98
・ 活火山観測体制の強化 (三宅島)	92
3. 海洋気象観測船の建造 (啓風丸: 12 年度支出予定額の繰上げ)	218 百万円

\* 端数処理のため計算が合わない場合がある。

気象庁平成12年度予算案概要

(単位：百万円)

事 項	11年度 予算額	12年度 予算案	備 考
I. 一般会計	62,859	64,761	
1. 物件費	22,151	24,398	
(1) 重要事項	2,792	6,481	
① 台風・豪雨等観測予報業務の強化	2,395	4,109	
・ 静止気象衛星(運輸多目的衛星)の整備	2,189	3,419	⑧ 4,500百万円 運輸多目的衛星新1号 3,409 ⑨ 搬出化製作費 打上費 流弊管制費 ⑩ 5,344百万円 運輸多目的衛星新2号 10 ⑪ 搬出化製作費
・ 気象資料総合処理システム(RAPS)の改良更新	26	300	⑫ 搬出化
・ 気象資料伝送網(LF's)の改良更新等	180	225	大阪管内
・ 集中豪雨等監視・予報業務の高度化	0	165	局地的気象監視システム観測局 (2か所)
② 地震・火山対策の強化	261	275	
・ 地震調査観測データ収集一元化システムの強化	187	197	札幌、仙台
・ 地震津波監視システム(ETOS)の更新	38	39	福岡
・ ナウキャスト地震情報(地震発生直後の即時的情報)提供の実用化調査	9	10	
・ 活火山観測体制の強化	27	29	浅間山、磐梯山
③ 気候変動・地球環境対策の強化	136	2,097	
・ 海洋気象観測船の建造等	136	1,767	⑬ 搬出化
・ 地球規模の高度海洋監視システムによる気候予知 次世代型高度海洋監視システムの構築	0	330	
(2) その他の事項	19,359	17,917	
2. 人件費	40,708	40,363	
II. 空港整備特別会計	12,840	12,366	
計	75,699	77,126	

(注) 端数処理のため計算が合わない場合がある。